

令和6・7年度 丹波市研究テーマ選択研修事業

【研究テーマ】

自分自身の学びをマネジメントする力の育成

1年次の研究を通して ～中間報告～



丹波市立山南中学校

はじめに

私たちが生きる21世紀は、社会の在り方が劇的に変わる「Society5.0時代」、新型コロナウイルスの感染拡大などに見られた先行き不透明な「予測困難な時代」と言われています。このような時代を自分らしく力強く生き抜くためには、「一人ひとりが自分のよさや可能性を認識するとともにあらゆる他者を尊重し、多様な人々と協働しながら様々な困難を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができる力」が必要であると考えます。この力を育むために、私たち教職員には、必要な改革を躊躇なく進めることで従来の日本型学校教育を発展させ、すべての子どもたちの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びを推進しながら「令和の日本型学校教育」を実現させることが求められています。

このような中、山南中学校は令和5年4月に旧山南中と和田中が統合し、新たに誕生しました。2校が持つ76年間の歴史と伝統を受け継ぎ、保護者・地域の方々の期待と支援を受けながら、「地域に誇りを持ち、豊かな人生を切り拓く生徒の育成」を学校教育目標として、日々教育活動をすすめています。特に、統合にあたって大切にしてきた「自分たちの学校を自分たちの手でつくる」という基本理念を念頭に、普段の授業をはじめ、学校行事や生徒会活動等に取り組んでいます。当たり前のことを当たり前にでき、何事にも素直に真面目に取り組める生徒の気質もあり、着実に新学校の基盤づくりをすすめているところです。

しかしながら全国学力・学習状況調査結果によると、「主体的に学びに向かうこと」や「計画的に学習をすすめること」には課題が見られます。また、「将来の夢や目標をもつこと」についても、4割程が消極的です。自分たちの持つ力を有効に発揮し、自分らしい幸せな人生を切り拓いていくために、これらの状況を改善していくことは喫緊の課題であると感じています。

そこで、自分自身を見つめ直しながらありたい自分の姿を思い描き、それに向かって計画的に行動する力を育むことに取り組みます。この力は、生涯を通して学び続けるための基盤であり、前述の個別最適で協働的に学ぶ力と相まって、豊かな人生を切り拓くための大きな力となることが期待されます。

須磨学園中学校・高等学校ですすめられている取組を基に旧和田中で実践してきた「PM/TM」を充実・発展させながら、本研究に取り組んでおります。ここに1年次の研究の経過をお知らせし、取組を整理しながら次年度の研究に生かしてまいります。

令和7年2月

丹波市立山南中学校

校長 岸田 孝広

1 研究主題

「生徒自身が自分をマネジメントするための基礎となる力の育成」

2 研究の概要

(1) 研究の目的

本校の生徒は、落ち着いて授業に臨み、真面目に取り組むことができる。令和5年度全国学力・学習状況調査の結果は、国語・数学ともに全国の平均正答率を上回る良好な結果であった。しかしながら、生徒質問紙調査では、「家で自分で計画を立てて勉強していますか」や「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか」という質問に対して、「当てはまる」と回答した割合は、全国平均を大きく下回る結果となった。また、「学校の授業時間以外に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」という質問に対する回答からは、家庭で学習に取り組む時間が短い傾向にあることが伺える。

これらのことから、本校の生徒は与えられた課題にはきちんと取り組めるが、分からないことを分かるようになるために自らの学習を調整したり、計画的に学習に取り組んだりすることに課題があると考ええる。

そこで、生徒自身が自分の学びをマネジメントする力の育成について研究と実践を深め、生涯にわたって主体的に学び続けるための基盤となる力を身につけさせたいと考えた。

(2) 研究仮説

生徒が「自分自身のなりたい姿（目標）」を思い描き、その実現のためには何が必要か、それをいつするのかを具体的に考えて実行することにより、自分の学習や行動をマネジメントする力がつき、なりたい姿（目標）に近づくことができるようになるのではないかと考えた。

(3) 研究の方法

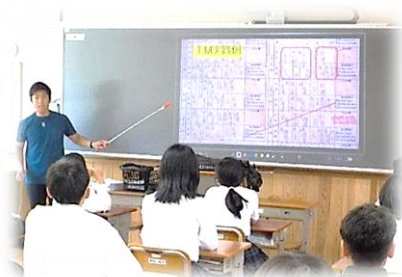
- ①実態調査アンケートを実施し、教職員は生徒の困り感等を把握するとともに、生徒は自分自身を見つめる機会とする。
- ②生徒自身がなりたい自分の姿を描く。
- ③定期考査期間を活用し、PM/TMシートに基づいた学習計画、実施に取り組む。
- ④先進校視察や有識者からの指導助言により取組を深化させる。
- ⑤研究の評価、検証にあたっては、PM/TMシートの分析や評価アンケート結果を活用する。

3 取組内容

(1) 経過

- 4月11日 第1回研修委員会
 - ・研修テーマの確認
 - ・取組計画の策定など
- 4月15日 職員会議にて今年度の取組の提案
教育のユニバーサルデザインについての職員研修会
- 4月 下旬 「授業のお助けアンケート」実施（生徒）
「私の目標達成シート」作成（生徒）
- 5月 初旬 「個の支援シート」作成（1年生新規作成、2・3年生更新）
- 5月13日 生徒理解のための職員研修会
（「個の支援シート」「授業のお助けアンケート」を活用して）
- 5月 1日 学活（中間考査に向けたPM/TMシート作成）
- 5月2日～17日 PM/TMシートの取組・提出期間（学年で点検）
- 5月24日 第2回研修委員会
 - ・6月17日 校内研修会について
 - ・これまでの取組について
 - ・2学期の校内研修会について
 - ・今後の取組について
- 6月 初旬 学活（期末考査に向けたPM/TMシート作成）
- 6月初旬～21日 PM/TMシートの取組・提出期間
- 6月17日 校内研修会「生徒自身が自分をマネジメントするための基礎となる力の育成に向けて」講師：丹波市子ども・若者サポートセンター支援員 大石伸子氏
- 7月初旬 「1学期の学習の振り返りアンケート」実施（生徒）
「私の目標達成シート」更新および新規作成（生徒）
- 7月12日 須磨学園高等学校・中学校 先進地視察研修
- 7月～8月 「1学期の学習の振り返りアンケート」分析
- 8月27日 第3回研修委員会
 - ・学力向上具現化プランについて
 - ・10月1日 校内研修会について
 - ・7月須磨学園高等学校・中学校視察研修について
 - ・1学期の取組の振り返り、評価
 - ・2学期の取組について
- 9月 2日 職員会議にて須磨学園高等学校・中学校視察研修会報告
- 10月 1日 校内研修会「生徒自身が自分をマネジメントするための基礎となる力の育成」講師：兵庫教育大学 加藤久恵教授
- 10月 2日～18日 PM/TMシートの取組・提出期間

- 10月30日 第4回研修委員会
- ・10月の校内研修会を受けて（変更、活用法など）
 - ・3学期の校内研修会に向けて
 - ・今後の取組について
- 11月11日 学活（期末考査に向けた PM/TM シート作成）
- 11月12日～27日 PM/TM シートの取組・提出期間
- 11月21日 第5回研修委員会
- ・3学期校内研修会について
 - ・今年度の取組と来年度に向けて
- 12月下旬 「2学期の学習の振り返りアンケート」実施（生徒）
「私の目標達成シート」更新および新規作成（生徒）
- 12月～1月 「2学期の学習の振り返りアンケート」分析
- 1月21日 第6回研修委員会
- ・2学期の取組の振り返り、評価
 - ・2月校内研修会について
 - ・研究報告1年次まとめについて
- 1月27日～2月10日 実力考査 PM/TM シートの取組・提出期間
- 2月 6日 職員会議で1年次のまとめについて報告
「学習の振り返りアンケート」1・2学期分析の報告
- 2月13日 校内研修会 講師：兵庫教育大学 加藤久恵教授
- ・学活（学年末考査に向けた PM/TM シート作成）
 - ・事後研修会（今年度取組の評価、今後の取組の指導助言）
- 2月13日～28日 PM/TM シートの取組・提出期間
- 2月下旬 第7回研修委員会
- ・校内研修会を受けて
 - ・次年度の取組について
- 3月初旬 「3学期の学習の振り返りアンケート」実施（生徒）
「私の目標達成シート」自己評価（生徒）
- 3月中旬 「3学期の学習の振り返りアンケート」分析
- 3月下旬 第8回研修委員会
- ・今年度の取組の振り返りと次年度に向けて



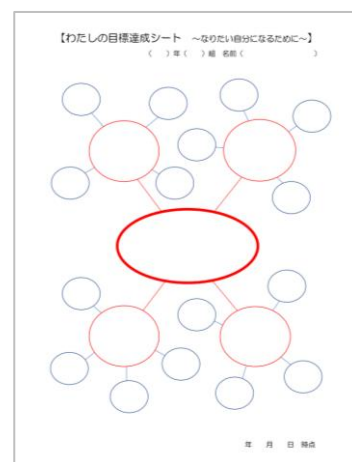
（２）研究の具体

①実態調査

生徒が自分をマネジメントできるようになるためには、まず自分を知る必要がある。そこで、年度初めに実施している「授業のお助けアンケート」から、自分自身がどんなことに困り感を持っているかを明確にするとともに、自分を知り、自分自身をみつめ直す機会を設ける。

②目標「なりたい姿」の設定

全国学力・学習状況調査結果によると、本校生徒は「主体的に学びに向かうこと」や「計画的に学習をすすめること」に課題が見られる。また、「将来の夢や目標をもつこと」についても消極的である。多くの生徒は、行事やテスト、部活動など日常のなかで「学習で力をつけたい」「進路をしっかりと考えたい」「リーダーとして頑張りたい」といった思いを持っている。しかし、それを実現するための具体的な行動が、なかなか伴わない現状がある。そこで、『わたしの目標達成シート～なりたい自分になるために～』を使い、自分の「なりたい姿」や、それに向けて「やりたいこと」「やるべきこと」を具体的に考えて書かせ、目標の実現に向けて自分に必要なことを整理させる。また、常にそれを目にするところに貼ったり、定期的に見直したりすることによって日々意識しながら、具体的な行動につなげたり、習慣化したりしていきたい。



【「わたしの目標達成シート～なりたい自分になるために～」】

〈方 法〉

- ① 真ん中に「なりたい姿」を書き込む。
- ② そこから放射状に「なりたい姿を達成するための課題」をいくつか書く。
- ③ その周りに「課題をクリアするためにやるべきこと」を具体的に書く。

〈指導上の留意点、工夫した点〉

- ・年度初めに「なりたい姿」を設定する。学期ごとに、シートを見直して書き足したり、新たに作成したりする。
- ・シートをコピーしたものを、デイリーライフ（連絡ノート）や学習のあゆみ（成績ファイル）などに貼り付ける。
- ・教育相談や、学期末懇談会などで、生徒や保護者とシートについて話したり、自分が「なりたい姿」に向かってどう歩んでいるかを共有したりする。

〈評価や振り返り〉

- ・学期末の書き足し、新規作成の時間にペアトークなどで振り返りを行う。
- ・学期末の「学習の振り返りアンケート」で「なりたい姿」に近づけているか自己評価をする。



③PM/TM シートを活用した学習活動

目標の実現のために、何をしなければならないのかを具体的に考えて目標達成を目指すPM(プロジェクトマネジメント)、またそれを、いつ、どの時間に、どのくらい取り組むのかをコントロールして目標達成を目指すTM(タイムマネジメント)を、定期テストに向けた学習の取組で実践する。これにより、いつ、どの時間に、何をするのかを明確にし、学習の取組改善につなげていきたい。

【PM (プロジェクトマネジメント) シート】

〈方 法〉

- 1 定期考査に向けて自分の目標を決める。
- 2 目標達成のためにやるべきことを、1 枠 30 分間程度の学習内容で書き出す。

〈指導上の留意点、工夫した点〉

- ・提出課題の完成に向けてだけでなく、力をつけるためにどんな学習が必要かを考えさせる。
- ・昨年度までは、教科担当者が各教科の PM シートの見本を作成していた。今年度の2・3年生は、PMシートをすべて自分で考えて書き出すことに挑戦した。(1年生は1・2学期は教科担当者が作成、3学期から自分で書き出した)
- ・よく考えて書けているシートは、校内に掲示するなどして参考にさせる。

【TM (タイムマネジメント) シート】

〈方 法〉

- 1 PM シートに書き出した学習内容を、いつ、どの時間にどのような内容の学習するのかをTMシートに落とし込み、テスト前2週間分の家庭学習の計画を立てる。
- 2 前日の取組を振り返るとともに、その後の予定の調整を行う。(プロジェクトの追加、学習予定の変更など)

〈指導上の留意点、工夫した点〉

- ・定期考査2週間前に学活(1時間)でPM/TMシートを使って学習計画を立てさせる。
- ・限られた時間を有効に使えているか、日々振り返らせる。
- ・テスト2週間前からは、朝読書の時間を使ってPM/TMシートを使って振り返ったり書き込んだりする。
- ・1年生は、1学期中間テスト前が初めての取組となるため、今年度は学年担当の教員が学活の時間に指導した。(来年度の1年生の1学期中間考査に向けては、3年生が取組方を教える予定)
- ・工夫して書けているシートは、校内に掲示するなどして参考にさせる。

〈評価や振り返り〉

- ・定期考査終了後、PM/TM シートを「学習のあゆみ」にファイリングし、保護者にも見てもらう。
- ・毎学期末に、「学習の振り返りアンケート」を実施し、PM/TM シートを通して自分の学習内容や学習習慣がどうだったか振り返る。

◆2学期期末考査PM(プロジェクトマネジメント)シート 【2019年度(1月1日)～27日(木)】

テストに向けての目標(やるべきこと、やりたいこと) _____

名前 _____

	国語	数学	社会	理科	英語	音楽	技・家	美術
目標点	点	点	点	点	点	点	点	点
達成度								
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
合計	DA	DB	DC	DA	DB	DC	DA	DB

目標に対する振り返り _____

【PMシート書き出し例】
 ・自分の目標達成のために書き出していく。
 ・自分の得意分野を得意分野として書き出していく。
 ・得意分野以外の得意分野を得意分野として書き出していく。

【自己評価】
 DAー5点以上で予定以上に取組めた。
 DBー4点を過ぎた。
 DCー予定よりできなかった。

◆TM(タイムマネジメント)シート 2学期期末考査 年 級 番 組

日	時	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	DA	DB	DC
12月1日	朝													DA	DB	DC
12月1日	中													DA	DB	DC
12月1日	夜													DA	DB	DC
12月2日	朝													DA	DB	DC
12月2日	中													DA	DB	DC
12月2日	夜													DA	DB	DC
12月3日	朝													DA	DB	DC
12月3日	中													DA	DB	DC
12月3日	夜													DA	DB	DC
12月4日	朝													DA	DB	DC
12月4日	中													DA	DB	DC
12月4日	夜													DA	DB	DC
12月5日	朝													DA	DB	DC
12月5日	中													DA	DB	DC
12月5日	夜													DA	DB	DC
12月6日	朝													DA	DB	DC
12月6日	中													DA	DB	DC
12月6日	夜													DA	DB	DC
12月7日	朝													DA	DB	DC
12月7日	中													DA	DB	DC
12月7日	夜													DA	DB	DC
12月8日	朝													DA	DB	DC
12月8日	中													DA	DB	DC
12月8日	夜													DA	DB	DC
12月9日	朝													DA	DB	DC
12月9日	中													DA	DB	DC
12月9日	夜													DA	DB	DC
12月10日	朝													DA	DB	DC
12月10日	中													DA	DB	DC
12月10日	夜													DA	DB	DC

（３）先進校視察と有識者からの助言

◇６月１７日 校内研修会

講師：丹波市子ども・若者サポートセンター支援員 大石伸子氏

①授業参観 １年１組 理科：荻野幸子教諭 ２組国語：谷口大樹教諭

②事後研修会 講演「子どもの豊かな未来をめざして～子どもの事実学ぶ～」
１年生生徒一人ひとりのアセスメントを行った。また、生徒それぞれに適切に支援・指導していくために、授業の様子、姿勢保持や書いたものから、発達や困り感の捉え方を助言いただいた。

◇７月１２日 先進地視察研修会（須磨学園高等学校・中学校）

①中学校全学年の学活の時間の見学

PM/TM を活用した、夏休みの計画を立てる時間の見学をした。夏休み中の PM/TM シートを個々に書いている学年と、夏合宿に向けて班ごとに心のあり方を深める「xyzT シート」の作成をしている学年があった。

②懇談会（指導主任、各学年の担任の先生方）

須磨学園高等学校・中学校が、学校教育の核として行なっている TBM の考えや、PM/TM シート・各種シートの活用について、取組の実態を説明いただいた。また、山南中での取組の紹介や質問を行った。須磨学園では、中学校入学時点で生徒、保護者に取組の説明をし、高校卒業までの６年間毎週 PM/TM を継続して行い、「To Be Myself（なりたい自分になる）」ために自分自身に必要な「こと」や「時間」を明確にして取り組んでいる。先生方も、チームで点検をしたり、困り感の強い生徒には個別に声掛けや指導を行ったりすることでサポートしている。

◇１０月１日 校内研修会 講師：兵庫教育大学教授 加藤久恵氏

①授業参観 全クラス学活（中間考査に向けた PM/TM シート作成）

②事後研修会 講演「生徒が自分なりの工夫をして成果をあげる力を育てる学習指導」

授業参観ののち、１年目の本校の取組に助言していただいた。PM/TM シートが定期考査期間の活用であるため、目標点数に目が行きがちであるが、より焦点化して生徒が記入できるよう、PM シートではやるべきことをより具体的に書く欄を作ること、TM シートではより家庭での時間に絞って書き込みを行えるようシートをコンパクトにすることなど、改善点を指摘いただいた。生徒それぞれが自分を振り返ったり、他者の言葉掛けによって自分がどこまでできているか、これから何が必要か認識したりするなど、「メタ認知」が促される手立てが必要である、と話された。

◇２月１３日 校内研修会 講師：兵庫教育大学教授 加藤久恵氏

①授業参観 全クラス学活（学年末考査に向けた PM/TM シート作成）

②事後研修会 今年度の取組の振り返り及び評価、来年度に向けた指導助言

(4) 生徒の意識の変容(「学習の振り返りアンケート」結果より)

質問:PM/TM シートの取組を通して、自分ができるようになったこと、良かったこと、変化したことなどがあれば書いてください。

【PM/TM シート活用全般】

- ・勉強の意欲や姿勢が変わった。
- ・計画を立てて自主勉強を取り組めるようになった。
- ・今までは全然勉強をしていなかったけど、PM/TM シートで計画を立てたら、やろうという気持ちになった。
- ・自分は、計画しないとやらない派なので PM/TM みたいなものがあることによって、勉強時間をより効率的に使うことができた。自分が何をすればいいのかを PM/TM シートを使ってみていたので私生活もしやすくなった。だけど、勉強時間が長くなることによって睡眠時間が短くなったので取組方には気を付けたほうがいいと思った。
- ・苦手な教科もしっかりできるようになった。
- ・今まで全く勉強しなかった自主勉強がしっかりできた、歴史の点数が上がった。
- ・五教科だけでなく技術、家庭科、音楽、美術の勉強もしっかり勉強できるようになった。
- ・計画的にはできていないけど、そこに目標を書くことでそれに向けて勉強を頑張ろうと思えるようになった。目標をより具体的に書くほうがいいと分かった。
- ・計画を立てるだけでも自分に必要なことを知れてよかった。
- ・一年生の時はテスト範囲などあまり気にしていなかったけど PM/TM シートを始めて前よりもテストの出るところややらなきゃいけないところを理解して取り組めた。
- ・学習時間を書くことでもっとしなきゃと思うことができるので良かった。
- ・自分がどんな時間の使い方をしていたのか知ることができたし、見直す所を知ることができた。
- ・無駄な時間が減った。
- ・家での学習時間は 30 分やって 5~10 分休憩して、頭の中で整理することを目的に頑張って取り組んだ。

【日常生活】

- ・日ごろから予定を立てて動くことができるようになった。
- ・家でも時間を決めて行動できるようになった。
- ・家の手伝いもやることが時間を決めてできるようになった。

【その他】

- ・PM シートを上手く活用できるようにしたい。
- ・ノートにもっと気持ちを込めて書かなきゃいけないなと思った。



4 成果と課題

(1) 成果

- ・生徒自身が具体的に自分の「なりたい姿」をイメージし、それをもとに自分自身が「やるべきこと」や「したいこと」を考えて行動に移すことを意識させることができた。
- ・生徒自身が取組を通して、日頃の行動の変化や気持ちの変化に気づくことができた。
- ・PM/TM シートの活用においては、漫然と定期考査に向けた学習をこなすのではなく、「何のために」「いつ」「どのように」やるべきかを明確にし、考査前の取組に繋がられた。
- ・他の生徒の取組を見て、参考にしたり、自分自身の取組を客観的な視点で振り返ったりすることができた。
- ・学習の振り返りアンケートの設問1～6の“自分自身の授業の取組”を問う項目では8～9割近くが「そう思う」「ややそう思う」と前向きな回答となった。

アンケート結果や教育相談、日頃の生徒の様子からも少しずつ生徒の意識の変化が見られた。また、教職員の声掛けも、「～しなさい」という一斉指導の言葉にならず、生徒それぞれの目標を把握したうえで、個別に適切に支援していくことを意識していった。

(2) 課題と今後の取組「学習の振り返りアンケート（1・2学期）結果」より

学習の振り返りアンケートの設問7～13の“PM/TM シートが有効に使えているか”“自分のなりたい姿に近づけているか”を問う項目では、肯定的な回答が6割程度であった。すぐに成果の出る取組ではなく、生徒によって取組方に差があることも伺える。今後は生徒一人ひとりに応じた支援や評価を充実させるとともに、効果的な活用場面を探っていくことが必要であると考え、次の点を中心に研究を進めたい。

- ・「なりたい姿」に近づいていけるように、3つのシートを生かし生徒へフィードバックを行う。
- ・PM/TM シートを活用して、自分がやるべきことを考えて小さな取組からでも行動に移す大切さを感じさせる。
- ・振り返りの際に、「うまくいったこと」「うまくいかなかったこと」それぞれの原因を考え、次の取組につなげさせる。
- ・行事を通した学級活動や生徒会活動、部活動などで幅広く活用する。
- ・「こんな学級にしたい」「こんな行事にしたい」「部活動でこうありたい」など、視野を広げて仲間と共に「なりたい姿」を共有する。

おわりに（次年度に向けて）

統合2年目となる山南中の取組として、旧山南中の授業のユニバーサルデザイン化、和田中の PM/TM シートの取組をふまえ、本校生徒の何事も前向きに取り組もうとする姿勢や、教職員の生徒たちに主体的に取り組んでいく力を付けさせたいという思いを推進力にしながら、生徒にとっても教職員にとっても持続可能な活動にできるよう工夫を重ねてきた。

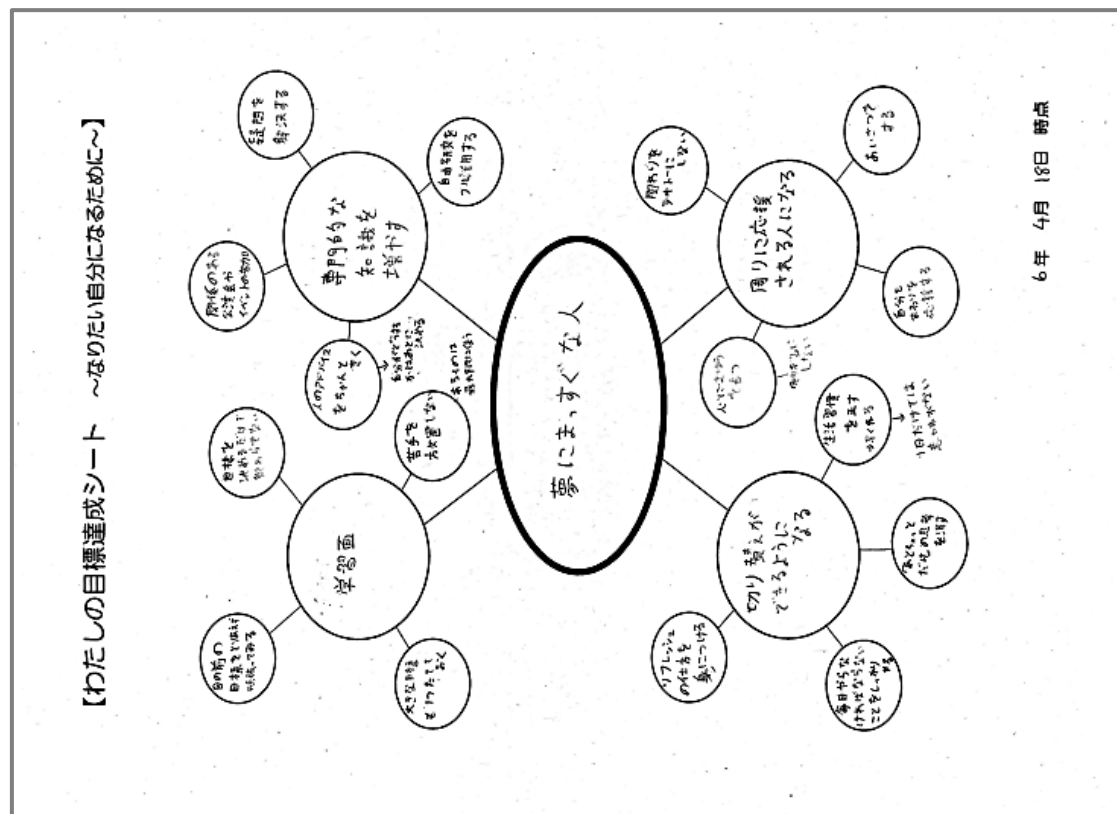
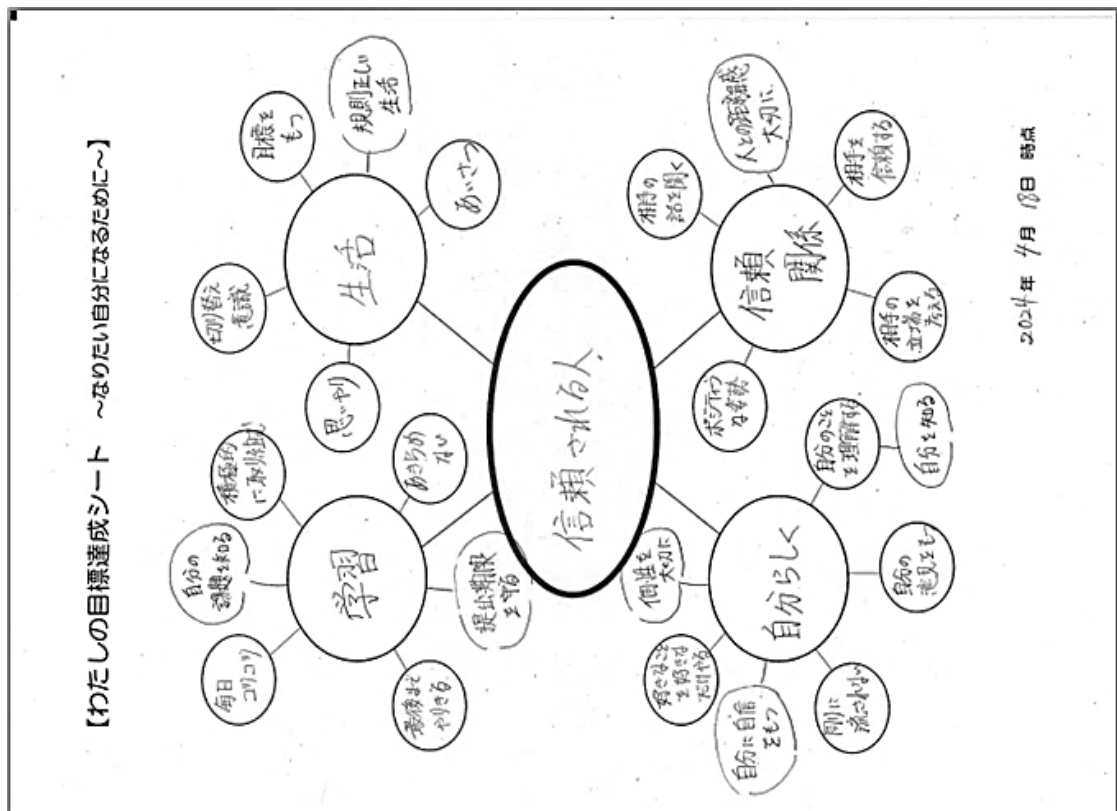
兵庫教育大学の加藤久恵教授から、生徒の発言や意識の変容、教職員の生徒への関り方を的確に捉え、助言していただいた。その中でも、学期ごとに実施した「学習の振り返りアンケート」において、1 学期から 2 学期で肯定的回答が低下していることに関して、「自分自身を内省する機会が増えると、だんだんと自分を客観的に見る力が養われ、『自分はそこまではできていない』と厳しく回答するようになってくる」と言われた。アンケートの回答結果を数値だけ見るのではなく、生徒自身がどのように自分自身を見つめることができるようになっていったかも分かる、貴重な助言であった。

しかしながら、今年度の全国学力学習状況調査の結果からは「学習時間」や「学習に対する姿勢・学習内容の活用」について、平日、休日ともに何らかの形で1 日1 時間以上学習に取り組む生徒は全国平均を 10 ポイント以上下回っている現状もある。今後も「私の目標達成シート」「PM シート」「TM シート」の3 種類のシートを活用しながら、目標や課題を明確にして学習効果を上げるとともに、ねばり強く学習に取り組む姿勢の醸成や、計画的な生活（学習）習慣の定着が課題となる。また、学習の基盤を確立し、生涯にわたって学び続ける態度を醸成するために、学習した内容を次の学習や他教科の学習、実生活の中に生かそうとする姿勢を育んでいきたい。

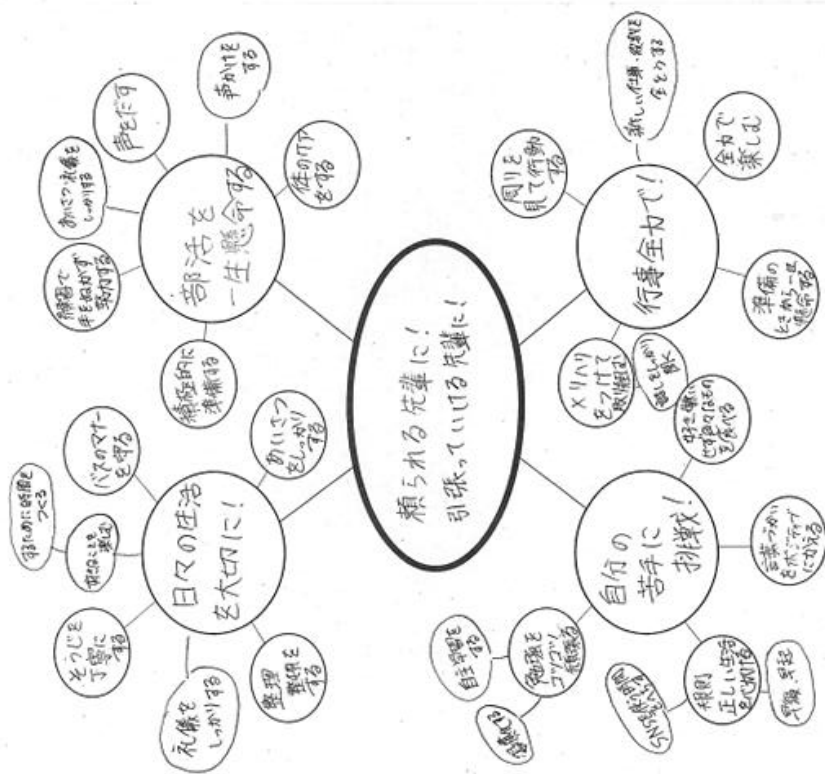
このように、本校が推し進める取組は、加藤教授からの助言にもあったように、生徒にとっても教職員にとっても「未来を明るくする」ためであること、この取組を通して自分自身の「10 年、20 年後、生きることの安心できる」自分になっていけることを、常に立ち返り伝えていく必要があることを痛感した。そして、次年度に向けて、さらに生徒自身がこの取組の良さを実感しながら、さまざまな経験を積んだ上級生から下級生に伝えていけるようにしたい。また、この取組が山南中の教育の核となるよう研究を積んでいきたい。

【参考資料（生徒記入例）】

- ・私の目標達成シート～なりたい自分になるために～

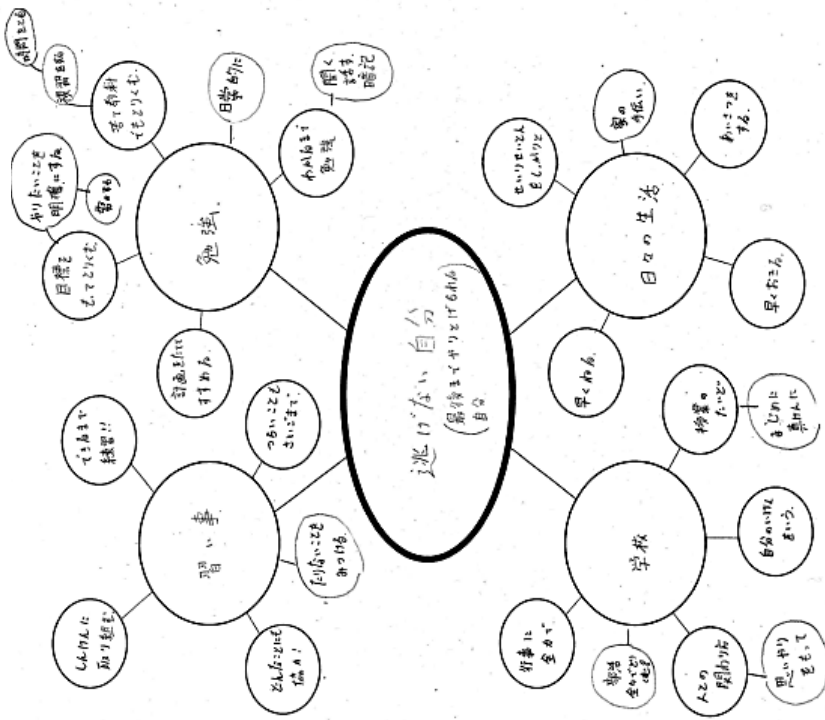


【わたしの目標達成シート ～なりたい自分になるために～】



2024 年 4 月 18 日 時点

【わたしの目標達成シート ～なりたい自分になるために～】



年 々 月 日 時点

・TMシート

◆TM(タイムマネジメント)シート 2学期期末考査

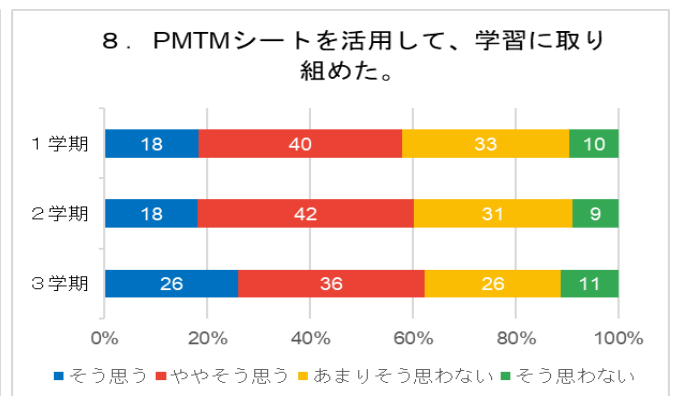
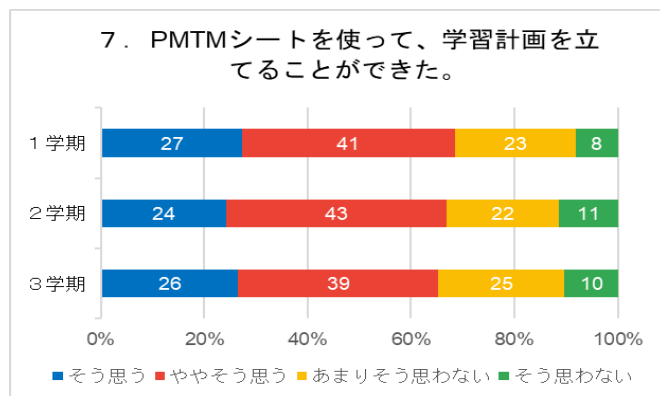
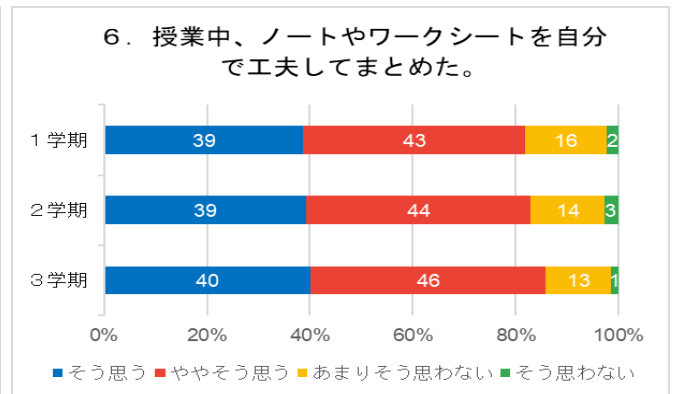
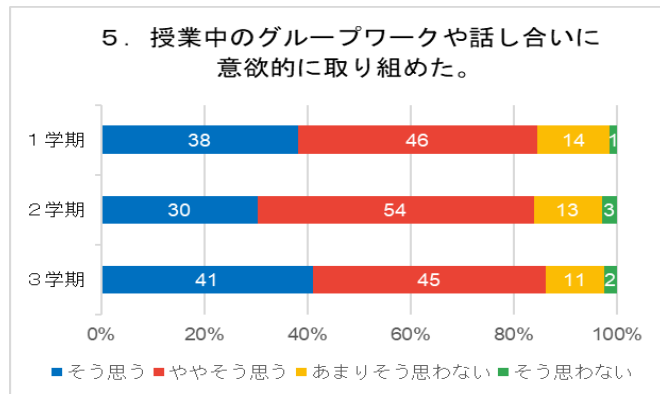
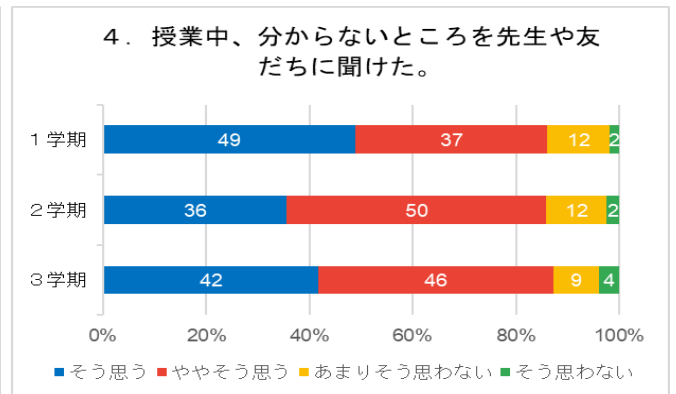
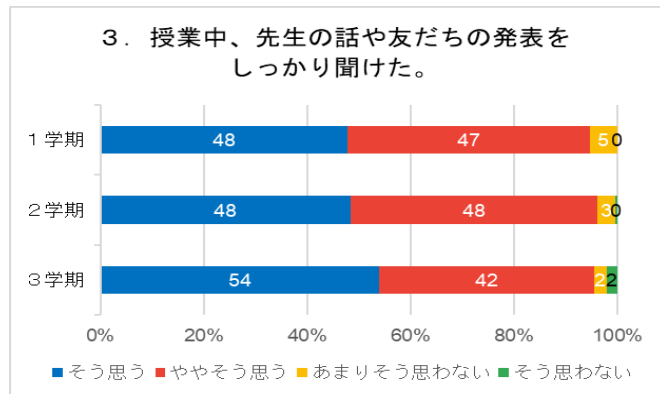
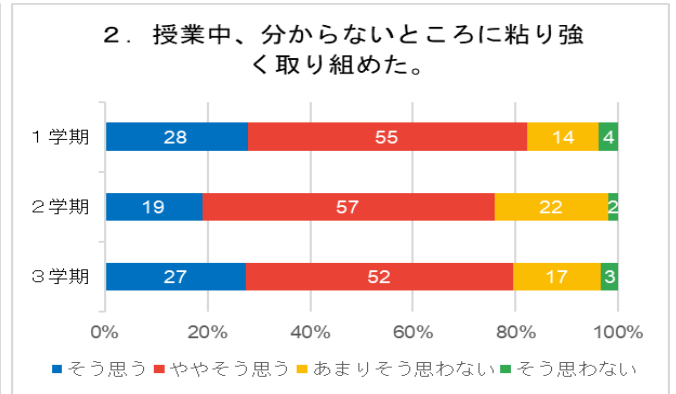
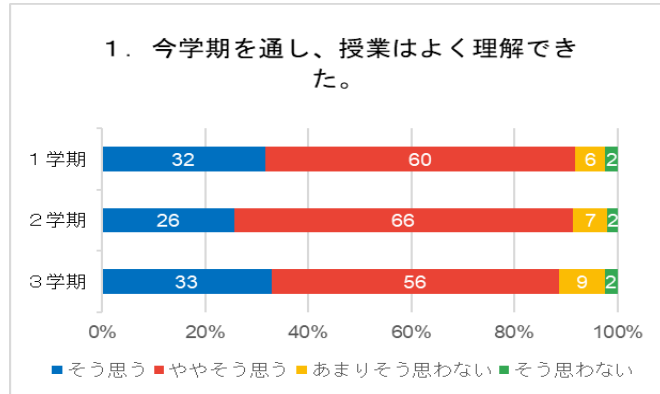
日	科目	時間	内容	備考
11/11(月)	1 国	10:00	国1 文法	
11/12(火)	2 数	10:30	数2 関数	
11/13(水)	3 英	10:30	英1 文法	
11/14(木)	4 理	10:30	理1 力学	
11/15(金)	5 国	10:30	国2 文法	
11/16(土)	6 数	10:30	数3 関数	
11/17(日)	7 英	10:30	英2 文法	
11/18(月)	8 理	10:30	理2 力学	
11/19(火)	9 国	10:30	国3 文法	
11/20(水)	10 数	10:30	数4 関数	
11/21(木)	11 英	10:30	英3 文法	
11/22(金)	12 理	10:30	理3 力学	
11/23(土)	13 国	10:30	国4 文法	
11/24(日)	14 数	10:30	数5 関数	
11/25(月)	15 英	10:30	英4 文法	
11/26(火)	16 理	10:30	理4 力学	
11/27(水)	17 国	10:30	国5 文法	
11/28(木)	18 数	10:30	数6 関数	
11/29(金)	19 英	10:30	英5 文法	
11/30(土)	20 理	10:30	理5 力学	
12/1(日)	21 国	10:30	国6 文法	
12/2(月)	22 数	10:30	数7 関数	
12/3(火)	23 英	10:30	英6 文法	
12/4(水)	24 理	10:30	理6 力学	
12/5(木)	25 国	10:30	国7 文法	
12/6(金)	26 数	10:30	数8 関数	
12/7(土)	27 英	10:30	英7 文法	
12/8(日)	28 理	10:30	理7 力学	
12/9(月)	29 国	10:30	国8 文法	
12/10(火)	30 数	10:30	数9 関数	
12/11(水)	31 英	10:30	英8 文法	
12/12(木)	32 理	10:30	理8 力学	
12/13(金)	33 国	10:30	国9 文法	
12/14(土)	34 数	10:30	数10 関数	
12/15(日)	35 英	10:30	英9 文法	
12/16(月)	36 理	10:30	理9 力学	
12/17(火)	37 国	10:30	国10 文法	
12/18(水)	38 数	10:30	数11 関数	
12/19(木)	39 英	10:30	英10 文法	
12/20(金)	40 理	10:30	理10 力学	
12/21(土)	41 国	10:30	国11 文法	
12/22(日)	42 数	10:30	数12 関数	
12/23(月)	43 英	10:30	英11 文法	
12/24(火)	44 理	10:30	理11 力学	
12/25(水)	45 国	10:30	国12 文法	
12/26(木)	46 数	10:30	数13 関数	
12/27(金)	47 英	10:30	英12 文法	
12/28(土)	48 理	10:30	理12 力学	
12/29(日)	49 国	10:30	国13 文法	
12/30(月)	50 数	10:30	数14 関数	
12/31(火)	51 英	10:30	英13 文法	

◆TM(タイムマネジメント)シート 2学期期末考査

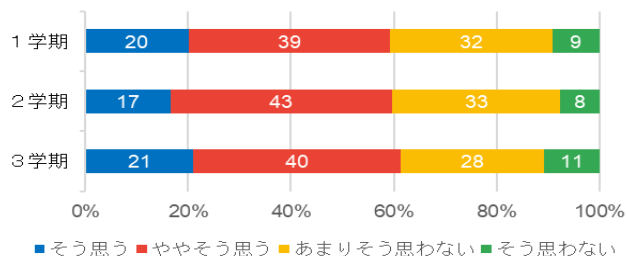
日	科目	時間	内容	備考
11/11(月)	1 国	10:00	国1 文法	
11/12(火)	2 数	10:30	数2 関数	
11/13(水)	3 英	10:30	英1 文法	
11/14(木)	4 理	10:30	理1 力学	
11/15(金)	5 国	10:30	国2 文法	
11/16(土)	6 数	10:30	数3 関数	
11/17(日)	7 英	10:30	英2 文法	
11/18(月)	8 理	10:30	理2 力学	
11/19(火)	9 国	10:30	国3 文法	
11/20(水)	10 数	10:30	数4 関数	
11/21(木)	11 英	10:30	英3 文法	
11/22(金)	12 理	10:30	理3 力学	
11/23(土)	13 国	10:30	国4 文法	
11/24(日)	14 数	10:30	数5 関数	
11/25(月)	15 英	10:30	英4 文法	
11/26(火)	16 理	10:30	理4 力学	
11/27(水)	17 国	10:30	国5 文法	
11/28(木)	18 数	10:30	数6 関数	
11/29(金)	19 英	10:30	英5 文法	
11/30(土)	20 理	10:30	理5 力学	
12/1(日)	21 国	10:30	国6 文法	
12/2(月)	22 数	10:30	数7 関数	
12/3(火)	23 英	10:30	英6 文法	
12/4(水)	24 理	10:30	理6 力学	
12/5(木)	25 国	10:30	国7 文法	
12/6(金)	26 数	10:30	数8 関数	
12/7(土)	27 英	10:30	英7 文法	
12/8(日)	28 理	10:30	理7 力学	
12/9(月)	29 国	10:30	国8 文法	
12/10(火)	30 数	10:30	数9 関数	
12/11(水)	31 英	10:30	英8 文法	
12/12(木)	32 理	10:30	理8 力学	
12/13(金)	33 国	10:30	国9 文法	
12/14(土)	34 数	10:30	数10 関数	
12/15(日)	35 英	10:30	英9 文法	
12/16(月)	36 理	10:30	理9 力学	
12/17(火)	37 国	10:30	国10 文法	
12/18(水)	38 数	10:30	数11 関数	
12/19(木)	39 英	10:30	英10 文法	
12/20(金)	40 理	10:30	理10 力学	
12/21(土)	41 国	10:30	国11 文法	
12/22(日)	42 数	10:30	数12 関数	
12/23(月)	43 英	10:30	英11 文法	
12/24(火)	44 理	10:30	理11 力学	
12/25(水)	45 国	10:30	国12 文法	
12/26(木)	46 数	10:30	数13 関数	
12/27(金)	47 英	10:30	英12 文法	
12/28(土)	48 理	10:30	理12 力学	
12/29(日)	49 国	10:30	国13 文法	
12/30(月)	50 数	10:30	数14 関数	
12/31(火)	51 英	10:30	英13 文法	

・学習の振り返りアンケート結果（学期末ごとに実施）

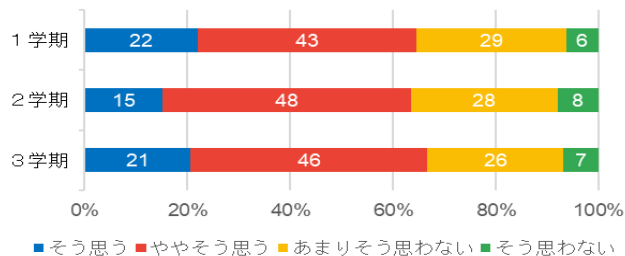
※各数値はパーセンテージ表示



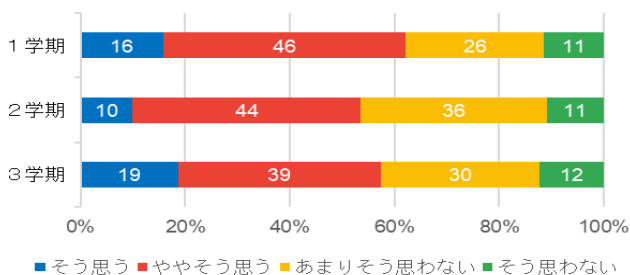
9. 定期テスト(中間・期末)前以外でも、自分に必要な学習を考えて自主的に取り組めた。



10. 学校以外での時間も、自分で時間の使い方を考えて計画的に過ごすことができた。

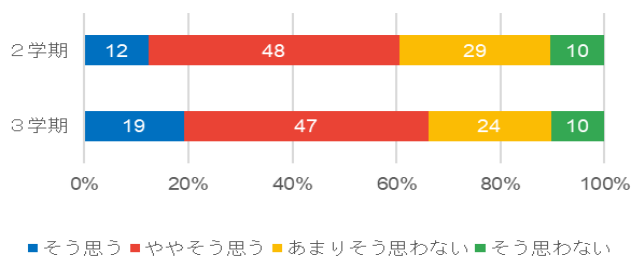


11. PMTMシートの取り組みを参考にして日常生活でも「やること」「時間」管理を意識して過ごした。



〈2・3学期のみ 実施項目〉

12. PMTMシートの取り組みを通して、自分に必要なこと(学習等)を考え、行動するようになった。



13. 「私の目標達成シート」やPMTMシートなどの取り組みを通して、なりたい自分に近づけた。

